

< 預金口座振替依頼書 ご記入方法について(団体用) >

(NSS口座振替汎用依頼書用)

■必ず「預金口座振替依頼書」の原本を団体様へご提出ください。

個人用記入見本

**預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書 (収 加)**  
(兼 預金口座振替申込書)

2022年 6月 1日

2200

収納企業名  
日本システム収納株式会社 (NSS)

ゆうちょ銀行以外の金融機関	金融機関名	みずほ	銀行	支店名	大手町	支店御中	
			信託銀行 信用金庫 信用組合 その他				
	預金種目	1. 普通(総合) 2. 当座	口座番号(右づめ?桁でご記入ください)		1 2 3 4 5 6 7		
	フリガナ	ニホン タロウ				金融機関へのお届出印	
	口座名義人	日本 太郎				日本印	

※法人の場合は必ず代表者名・肩書きもご記入ください。

振替日 27日 (金融機関休業日の場合は翌営業日)

ゆうちょ銀行	種目コード	契約種別コード	通帳記号(左づめ)	通帳記号(右づめ)		
	1 6 6 3 0 1					1
	口座名義人					お届出印
	払込日	27日 (ただし非営業日の場合は翌営業日)				
	払込先口座番号	00970-6-15938		払込先加入者名	日本システム収納株式会社	

※ゆうちょ銀行をご指定の場合は、自動払込設定が適用されます。  
私は、日本システム収納株式会社から請求された金額を私名義の上記預金口座から預金口座振替(自動払込)によって支払うこととしていたので預金口座振替規定を確約(ゆうちょ銀行は除く)のうえ依頼します。

- 預金口座振替規定 - (ゆうちょ銀行は除く)

1. 金融機関に請求書が送付されたときは、私に通知することなく、請求書記載金額を預金口座から引落しの上で支払ってください。この場合、預金規定または当座規定にかかわらず、預金通帳、印私印請求書の提出または小切手の振出しはしません。
2. 振替日において請求書記載金額が預金口座から払戻すことのできる金額(当座貸越を利用できる範囲内の金額を含む。)をこえるときは、私に通知することなく、請求書を返却して下さいます。
3. この契約を解約するときは、私から金融機関に書面により届出ます。なお、この届出がないまま長期にわたり会社から請求がない等相当の事由があるときは、とくに申出をしない限り、金融機関はこの契約が終了したものとして取り扱って下さいます。
4. この預金口座振替についてかたに紛争が生じても、金融機関の責による場合を除き、金融機関には迷惑をかけるません。

(不償返却事由) 1. 預金取引なし 2. 記載事項等間違 (店名、預金種目、口座番号、口座名義) (備考)	3. 印鑑相違 4. その他 ( ) ( )
--	---------------------------------

お届出印を  
ご捺印ください。

金融機関受付印

取 扱 店 日 附 印

預金口座振替依頼書に不備があった場合、新しい依頼書を再手配ください。  
不備の依頼書は返却せず、日本システム収納株式会社にて、適切に保管、廃棄します。

この依頼書(申込書)にご記入いただいた個人情報は、団体及び団体から委託を受けた日本システム収納株式会社が預金口座振替(自動払込)業務およびこれに付随・関連する業務に限り使用します。

【団体用欄】  
加入者名、加入者コード、所属コードは必要に応じて記入願います。

加入者名		所属コード	
加入者コード		団体コード	
団体名			

<不償返却先(金融機関用)>  
〒964-8523  
秋田県江刺市丁目23番101号  
日本システム収納株式会社  
電話 (06) 6388-6172

改訂日： 2022.06.01

## <項目説明・点検一覧>

■以下の項目の記載内容に不備がないことを団体様にてご確認のうえ、NSSへ送付ください。

### 1. ゆうちよ銀行以外をご利用の場合

項目	ご説明	確認欄
申込日	(〔西暦〕 年 月 日) に申込日付をご記入ください。	
金融機関欄	預金通帳をお手元にご準備いただき、記載されている内容を確認のうえ、次の項目について、もれなく正確にご記入ください。	
金融機関名	3.NSS 取扱金融機関 を確認のうえ、ご記入ください。	
業態	金融機関の業態(銀行、信託銀行、信用組合等)を○で囲んでください。	
支店名	通帳記載のとおり、ご記入ください。(支店名が変更の場合は新支店名)	
預金種目	該当する預金種目(1.普通(総合)、2.当座)を○で囲んでください。	
口座番号	口座番号は右づめで記入し、空欄は ” 0 ” でうめて下さい。	
フリガナ	通帳の記載どおりにフリガナを必ずご記入ください。 ※法人口座の場合、代表者名・肩書きのフリガナは不要です。 ※姓と名の間は1字空けてください。 また、濁点、半濁点は1字分としてご記入ください。	
口座名義人	通帳の記載どおり正確にご記入ください。 ※法人口座の場合、会社名・金融機関お届けの肩書き・代表者名を省略せずに正確にご記入下さい。	
お届け印	必ず金融機関に届出済のご印鑑を押印ください。不鮮明な場合は欄外に捨印を押印ください。 ※印鑑レス口座をご利用の場合は、サインまたは認印をお願いします。	

※ボールペン等ではっきりと記入ください。(鉛筆書きは不可です)

※訂正する場合は、二重線を引き、訂正印(金融機関お届け印)を押印ください。

また、修正液・テープは使用不可です。

※依頼書の記入に不備のある場合、金融機関で受付いただけません。依頼書が不備となった場合は、新しい用紙で再度お手配ください。

次の項目は、不備となる場合が多いので特にご注意ください。

- (1) 印鑑相違、または印鑑不鮮明
- (2) 口座名義人の記載事項相違
  - ・法人の場合、法人略称不可(株式会社:○、(株):×)。
  - ・法人の場合、代表者名、肩書きの記載漏れや相違(字体相違も含む)。
- (3) 業態、預金種目、口座番号の記載漏れ

## 2. ゆうちょ銀行をご利用の場合

項目	ご説明	確認欄
申込日	(〔西暦〕 年 月 日) に申込日付をご記入ください。	
ゆうちょ欄	預金通帳をお手元にご準備いただき、記載されている内容を確認のうえ、次の項目について、もれなく正確にご記入ください。	
通帳記号	通帳記号をご記入ください。	
通帳番号	通帳番号は右づめで記入し、空欄は ” 〇 ” でうめて下さい。 ※下1桁(右端)は必ず「1」となります。(「1」と記載済みです)	
カナ (必須)	通帳の記載どおりにフリガナを必ずご記入ください。 ※法人口座の場合、代表者名・肩書きのフリガナは不要です。 ※姓と名の間は1字空けてください。 また、濁点、半濁点は1字分としてご記入ください。	
口座名義人	通帳の記載どおり正確にご記入ください。 ※法人口座の場合、会社名・金融機関お届けの肩書き・代表者名を省略せずに正確にご記入下さい。	
お届け印	必ず金融機関に届出済のご印鑑を押印ください。不鮮明な場合は欄外に捨印を押印ください。	

※ボールペン等ではっきりと記入ください。(鉛筆書きは不可です)

※訂正する場合は、二重線を引き、訂正印(金融機関お届け印)を押印ください。

また、修正液・テープは使用不可です。

※依頼書の記入に不備のある場合、金融機関で受付いただけません。依頼書が不備となった場合は、新しい用紙で再度お手配ください。

次の項目は、不備となる場合が多いので特にご注意ください。

- (1) 印鑑相違、または印鑑不鮮明
- (2) 口座名義人の記載事項相違
  - ・法人の場合、法人略称不可(株式会社:〇、(株):×)。
  - ・法人の場合、代表者名、肩書きの記載漏れや相違(字体相違も含む)。
- (3) カナ、通帳記号、通帳番号の記載漏れ

### 3. NSS 取扱金融機関

※詳細は当社ホームページをご確認ください。

ご利用可能な金融機関		
都市銀行・ゆうちょ銀行	全行	
地方銀行・第二地方銀行	全行	
信用金庫	全金庫	
労働金庫	全金庫	
信用組合	125 組合	
農協	585 組合	
信託銀行	右記 4信託	三井住友信託銀行、みずほ信託銀行 三菱 UFJ 信託銀行、SMBC 信託銀行 ※ただし、8日振替の場合、みずほ信託銀行、SMBC信託銀行は利用不可。
その他	右記 9行	新生銀行、商工中金、PayPay銀行、 住信SBIネット銀行、セブン銀行、 楽天銀行、ソニー銀行、イオン銀行、 GMO あおぞらネット銀行

※外国銀行、漁業協同組合は利用できません。

### 4. 法人のフリガナ記入時の法人種類の省略方法

法人の種類	先頭	末尾
株式会社	カ)	(カ
有限会社	コ)	(コ
合名会社	ケ)	(ケ
合資会社	シ)	(シ
合同会社	ド)	(ド
医療法人	イ)	(イ
財団法人	ザイ)	—
社団法人	シヤ)	—
宗教法人	シウ)	—
学校法人	ガク)	—
社会福祉法人	フク)	—
特定非営利活動法人	トク)	(トク